

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
34104	情報サービス論 Introduction to Information Services	江良 友子	専門	2	選択	1・2年 前期

科目の概要

高度情報社会において、図書館が情報サービスを提供することの意義について、歴史的な状況をふまえて学習する。実際に図書館で行われているレファレンスサービス、情報検索サービス等の内容と方法について、参考図書、データベース等の情報源の特性、サービスの類型、図書館利用教育などについて学習する。

学修内容	到達目標
① 情報サービスの歴史と現状について学ぶ	① 情報サービスの発生と展開、日本への導入、現状について理解することができる
② 情報サービスの種類と特徴を学ぶ	② 図書館における情報サービスの種類と特徴を理解することができる
③ レファレンスサービスについて学ぶ	③ 情報サービスを実践するための技法を知ることができる
④ 各種情報源の特質と利用法を学ぶ	④ 様々な分野のレファレンスブックの特徴と使用法を知ることができる
⑤ 図書館利用教育について学ぶ	⑤ 図書館利用教育・情報リテラシー育成の方法を知ることができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	図書館のレファレンス機能を学ぶという目的に向かって、指示がなくても自ら図書館を利用することができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題を期限までに提出するために、手順を考えて進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	どうすれば、利用者にとって早くて正確な情報にたどり着けるか考えながら授業に臨むことができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと様々な角度から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞く人に合わせて、わかりやすい発表ができる。
	傾聴力	人の意見を確認して、自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	学生としてではなく、社会人として通用する言葉遣いと行動(授業中におしゃべりしない、遅刻しない、忘れ物をしない、提出物を期限内に提出する、授業中に携帯を触らない等)ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「図書館情報学基礎資料」2016年 今まど子・小山憲司 編著、樹村房 1,080円
 その他、講義用レジュメおよび追加資料を配付する。必要に応じて教材として視聴覚資料を使用する。
 参考文献:授業の中で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:図書館に関する科目全て
 資格との関連:図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
日頃から図書館や書店に足を運ぶこと。 授業の中で1週間のトピックを質問するので、毎日、新聞に目を通すこと。	遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 欠席した場合は、次回授業日前までに欠席分の配布資料を取りに来ること。 欠席した場合でも課題提出は必須です。必ず指定された期限までに提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	90	①	✓	評価のポイント ・図書館における情報サービスの意義について書くことができる ・情報サービスの歴史を理解している ・情報サービスの種類を理解している ・大学図書館で論文を書くための支援方法を理解している ・情報サービスに必要な人的・物的資源を理解している ・レファレンスプロセスを理解している ・情報検索のしくみを理解している ・情報検索に使用する論理演算子を理解している ・基本的なレファレンスブックを知っている ・ネットワーク上の情報源の特質を理解している ・代表的な情報発信型サービスを知っている ・情報サービスの課題について考察することができる ・図書館利用教育がどのようなものか、書くことができる ・授業内で出てきた専門用語の意味を書くことができる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 図書館のレファレンスを自主的に利用できる (実行力) 座学であっても、集中して粘り強く学ぶことができる。 (課題発見力) 利用者の目線で、早くて正確な情報にたどり着く方法を考えることができる (創造力) 情報を利用しながら、様々な角度からものごとを考えることができる (発信力) 聞き手に合わせて話を進めることができる。 (傾聴力) 相手が話をしやすい環境を作ることができる。 (規律性) 指定された期日までに遅れることなく提出物を出すことができる。 ※上記の7項目は、創造力を特に重視し、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100		筆記試験、学修態度の成績を総合して評価する。	

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S(秀)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について理解し、9割以上回答できている。 学修態度にある7項目が達成できている。 A(優)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について理解し、8割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち6項目以上が達成できている。	B(良)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について概ね理解し、7割以上回答できている。 学修態度にある5項目以上が達成できている C(可)評価 筆記試験の評価ポイントに記載している事項について6割以上回答できている。 学修態度にある7項目のうち4項目以上が達成できている或は、達成までには至らないがよく努力している。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 図書館における情報サービスの意義を学ぶ ビデオ:「レファレンスサービス」	講義 ビデオ視聴	情報サービスの概要を知ることができる	(予習) レファレンスサービスとは何かを調べる	60	自主性
2週 /	情報サービスの歴史と現状 情報サービスの発生と展開、日本への導入と現状について学ぶ DVD:『映像でみる戦後日本図書館のあゆみ』	講義 発表 DVD 視聴	情報サービスの歴史について知ることができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、情報サービスの歴史について復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3週 /	情報サービスの実際 1 様々な情報サービスについて学ぶ	講義 発表	情報サービスの種類と内容を理解することができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、情報サービスの種類と内容を復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4週 /	情報サービスの実際 2 専門的な情報サービスの在り方について学ぶ ビデオ「論文のまとめかた」	講義 発表 ビデオ視聴	専門的な情報サービスとは何かを知り、その在り方を理解することができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、専門的な情報サービスの種類と内容を復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5週 /	デジタル環境下での情報サービス インターネット社会での情報サービスについて学ぶ	講義 発表	インターネット社会での情報サービスの特徴を知ることができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、デジタル環境下でのレファレンスサービスについて復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6週 /	情報サービスの管理 情報サービスの人的資源と物的資源について学ぶ	講義 発表	情報サービス資源の種類を知ることができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、情報サービス管理について復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
7週 /	情報源の整備 情報サービスのための情報源の整備について学ぶ	講義 発表	情報サービスのための情報源整備の重要性を理解することができる	(復習) 授業で配布したレジュメを読み返し、情報源整備について復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8週 /	レファレンスサービスの理論と実際 1 情報検索行動とレファレンスプロセスを学ぶ	講義 発表	情報検索行動とは何か、レファレンスプロセスの流れを理解することができる	(予習) 公共図書館でレファレンスサービスを受けるための準備(質問準備) (その他) 新聞を読む	180	実行力 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	レファレンスサービスの理論と実際 2 情報の検索と回答の仕方について学ぶ	講義 発表	情報の検索と回答方法について理解することができる	(その他) 公共図書館でレファレンスサービスを受けてみる 新聞を読む	180	実行力 創造力 発信力
10週 /	レファレンスサービスの理論と実際 3 情報検索の仕組みを学ぶ	講義 発表	情報検索の仕組みを理解することができる	(その他) 公共図書館で受けたレファレンスサービスからレファレンス手法を考える 新聞を読む	180	実行力 創造力 発信力
11週 /	各種情報源の特質と利用法 1 レファレンスブックの特質と利用法を学ぶ	講義 発表	様々な分野のレファレンスブックの特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたレファレンスブックを図書館で確認する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12週 /	各種情報源の特質と利用法 2 様々な分野のレファレンスブックの特質と利用法を学ぶ	講義 発表	様々な分野のレファレンスブックの特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたレファレンスブックを図書館で確認する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13週 /	各種情報源の特質と利用法 3 ネットワーク上の情報源の特質と利用法を学ぶ	講義 発表	ネットワーク上の情報源の特質と利用方法を知ることができる	(復習) 授業で取り上げたネットワーク上の情報源を確認する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14週 /	発信型情報サービスの意義と方法 パスファインダーなどの新しい発信型情報サービスの意義と方法を学ぶ	講義 発表	発信型情報サービスの意義と方法を理解することができる	(復習) 授業で配布したレジメを読み返し、発信型情報サービスについて復習する (その他) 新聞を読む	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15週 /	図書館利用教育 図書館利用教育と情報リテラシーについて学ぶ	講義 発表	図書館利用教育の種類を知り、情報リテラシー教育の重要性を理解することができる	(復習) これまで学んだ内容を全て復習する	300	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力